

令和4年度 倉吉西高等学校 CAN-DOリスト

【卒業時】

英語を通じて、場面や状況、背景、相手の表情や反応などを踏まえて、話し手や書き手の伝えたいことを的確に理解するとともに、自分が伝えたいことを適切に伝えることができる。

外国語理解の能力

外国語表現の能力

	READING	定量的な数値 指標【例】 GTECグレード など	LISTENING	定量的な数値 指標【例】 GTECグレード など	WRITING	定量的な数値 指標【例】 GTECグレード など	SPEAKING	定量的な数値 指標【例】 GTECグレード など
	学習到達目標		学習到達目標		学習到達目標		学習到達目標	
S3	●教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ●教科書の本文の中の重要な点(とそうでない点)を区別し、書き手の意図などを正確に理解して、自分の意見と比較しながら文章を読むことができる。	●CEFRA2以上 (Readingスコア170以上) ●共通テスト(リーディング)で50%以上の得点ができる。 ●共通テスト(リーディング)を時間内で全問解き終えられる。	●教科書のリスニング活動に出てくる、10文程度の長さの話や会話を聞いて、大筋なら内容を理解できる。 ●リスニング活動に出てくる、ある程度の長さで複数の話題が含まれた話や会話を聞いて、主題と詳細情報を区別しながら理解できる。	●CEFRA2以上 (Listeningスコア160以上) ●共通テスト(リスニング)で50%以上の得点ができる。	●自分の意見や感想を論理的に整理し、段落構成を意識して書くことができる。 ●効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に整理し、まとまった文章で書くことができる。	●CEFRA2以上 (Writingスコア210以上)	●なじみのある話題について、英語で議論することができる。 ●英語のネイティブ・スピーカーと、自分が知っている映画や本のあらすじ、出来事などについて、英語でやりとりできる。 ●英語のネイティブ・スピーカーと、本や映画などなじみのある話題であれば、新たな質問を思いつくなどして話題を発展させることができる。	●CEFRA2以上 (Speakingスコア210以上)
S2	●教科書の本文を読んで、内容の大筋(出来事のつながり)を理解できる。 ●教科書の本文の、1つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。	●CEFRA2以上 (Readingスコア160以上)	●教科書のリスニング活動で聞く英語を、1文ずつであれば内容を理解できる。 ●教科書のリスニング活動に出てくる、5文程度の長さの話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 ●英語のネイティブ・スピーカーがはっきりした発音で話をすれば、おおよその内容を理解できる。	●CEFRA2以上 (Listeningスコア150以上)	●自分の意見や感想、または出来事の描写を5～6文程度の英語で書くことができる。 ●自分の意見や感想を整理し、文章構成を意識して書くことができる。	●CEFRA2以上 (Writingスコア200以上)	●英語のネイティブ・スピーカーと、自分のことなど、なじみのある話題について英語で短いやりとりができる。 ●自分のスピーチに対する質問に英語で答えることができる。 ●学校や身の回りの話題に関する自分の考えを英語で話すことができる。	●CEFRA2以上 (Speakingスコア200以上)
S1	●教科書の本文を読んで、語彙などのヒントがあれば内容の大筋(出来事のつながり)を理解できる。 ●教科書の本文の内容について、簡単な質問に答えることができる。	●CEFRA1以上 (Readingスコア130以上)	●英語での簡単な指示(Stand up. Open your textbookなどの教室英語等)を理解できる。 ●Where do you live?などの簡単な質問は、ほぼ理解できる。 ●英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどある程度配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。	●CEFRA1以上 (Listeningスコア120以上)	●自分の意見や感想を表す英語の単語をいくつか書くことができる。 ●興味・関心のあることについて、簡単な文章を書くことができる。 ●自分の意見や感想を2～3文の英語で書くことができる。	●CEFRA2以上 (Writingスコア190以上)	●英語で簡単なあいさつや別れの言葉を交わすことができる。 ●自分の大切にしているものなどについて、英語で短い簡単な説明をすることができる。	●CEFRA2以上 (Speakingスコア190以上)

※観点別学習状況の評価における「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」及び「言語や文化についての知識・理解」の4つの観点のうち、「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標は「外国語表現の能力」及び「外国語理解の能力」について設定する。ただし、学習評価は4つの観点を総合して行う。

※本学習到達目標例は技能別に示しているが、授業においては、4技能の総合的な指導を通して、4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力を育成することに留意する。